

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	心理学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 集中	教室名	第2校舎201
担 当 教 員	杉本 峻也	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》 対人援助的学問の一つである臨床心理学を学ぶことによって、患者／クライアントと接する際の技法や態度を学ぶ。中でも、傾聴／リスニングは心理臨床の専門家でなくても理論や技法を学ぶことが奨励されている。本講義はこの考え方にに基づき、傾聴／リスニングのスキル獲得のために様々なワークを実習する。また、対人援助職に必要とされるセルフケアについても体験的に学習する。						
《成績評価の方法と基準》 1. 定期試験:70% 2. 授業態度と参加度:30%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 参考書実践に役立つ臨床心理学(第3版) 塩崎尚美編著 北樹出版 よくわかる臨床心理学改訂新版 下山晴彦編集 ミネルヴァ書房						
《授業外における学習方法》 講義内にての配布資料の復習						
《履修に当たっての留意点》 「何か新しいことを学ぶ」以上に、「体験を通して実感する」ことに重きを置いて、授業を進める。臨床心理学的視点を理解し、医療現場における患者との関わりに有効な材料を一つでも獲得してほしい。楽しみながら学ぶことを心がけたい。また、皆からの意見も貰いながら、適宜要望に則した形に授業をアレンジしていくので、体験を現場に還元してもらえることを期待する。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理学概説を理解する	配布資料 PC、プロジェクター		
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療分野における心理学の応用を理解する	配布資料 PC、プロジェクター	配布資料にて予習・復習	
		各コマにおける授業予定	医療における臨床心理			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	日常生活の中の臨床心理を理解する	配布資料 PC、プロジェクター	配布資料にて予習・復習	
		各コマにおける授業予定	日常生活の中の臨床心理を考える			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理学の手法を実体験し理解を深める	配布資料 PC、プロジェクター	配布資料にて予習・復習	
		各コマにおける授業予定	セルフケアの体験学習①			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理学の手法を実体験し理解を深める	配布資料 PC、プロジェクター	配布資料にて予習・復習	
		各コマにおける授業予定	セルフケアの体験学習②			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	信頼形成の手順について理解する	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	ラポール形成のワーク		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	信頼形成の重要因子である共感・傾聴についてワークを通じて理解を深める	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	傾聴のワーク実習①		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	信頼形成の重要因子である共感・傾聴についてワークを通じて理解を深める	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	傾聴のワーク実習②		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	信頼形成の重要因子である共感・傾聴についてワークを通じて理解を深める	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	傾聴のワーク実習③		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床現場で使える臨床心理手法をワークを通じて理解を深める	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	現場で使えるワーク実習①		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床現場で使える臨床心理手法をワークを通じて理解を深める	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	現場で使えるワーク実習②		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床現場で使える臨床心理手法をワークを通じて理解を深める	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	現場で使えるワーク実習③		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	メンバー相互が本音を出し合うことにより、互いの理解を深め、また自分自身も受容していくことができる。	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	グループ・エンカウンター実習①		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	メンバー相互が本音を出し合うことにより、互いの理解を深め、また自分自身も受容していくことができる。	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	グループ・エンカウンター実習②		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	第1回～第14回までの知識の確認	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	まとめ 第1回～第14回までの知識、理解度を確認を行う		